

◆ご家族みなさんでお読みください◆



長岡の環境キャラクターペギーちゃん

<主な内容>

- ・お見せします! のゆくえ(2ページ)
- ・どうして切るの?布団やカーペット(3ページ)
- ・環境美化推進員の声より(4ページ)

ながおかの ごみ改革

“私たちのまち”をきれいに!!

～南七日町町内会の思い～



南七日町町内会では、春と秋の町内一斉クリーン作戦のほか、4月～11月の毎週日曜日の朝、「長岡インター東公園」の掃除をしています。

公園ができた当初から、班単位で順番に続けているとのこと。

公園を利用する人たちの中には、空き缶・空きびんや弁当がら、花火やバーベキューのごみなどを置いていく、心ない人たちもいるそうです。

秋は大量の落ち葉が出ます。持ち帰ってたい肥にする人もいますか。

「掃除を続けることで、ごみがゼロにはならないけれど、年々減ってきてはいます。」と話すのは、町内会長の幸平清さん。サッカーチームの子どもたちは、練習時間の中で5分間の“ごみ拾いタイム”を設けるなど、公園をきれいにする思いが広がっています。



「みんなの憩いの場だから、お互いに気持ちよく使いたい。それに尽きますね。」掃除を終えた皆さんは、すがすがしい笑顔でした。



集めたごみは「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」に分別します。

「ながおかのごみ改革」から5年



～環境美化推進員の声より～

各地域で環境美化推進員の皆さんと懇談会を開催し、日ごろのごみステーション管理や、美化活動のことを聞かせていただきました。長岡地域では、平成16年10月の「ながおかのごみ改革」から5年を経過し、ごみステーションの状況は、概ね落ち着いてきているようでした。懇談会の席場や、アンケートでいただいた事例を紹介します。

- ・分別間違いが多いプラスチック容器包装材収集日の朝に、ごみステーションに立って指導を行ったところ、その後は問題がない。
- ・不法投棄禁止看板の設置もいいが、モラルを守る教育の一環としてクリーン作戦を子どもたちといっしょにやっている。
- ・気がついたときや余裕があるときに見回りをする。
- ・収集日前日の夜間と当日の早朝に監視をする。
- ・ごみステーションの数を増やして目の届く状態にしたことで違反ごみが減り、他町内からのポイ捨ても防止できたなど、大きな成果があった。
- ・ごみ当番が一週間当番をして気づいた点をノートに書き、次の人に渡している。良いことも悪いことも共有できる。

使用済み

天ぷら油は
リサイクルへ!



家庭から出る使用済みの天ぷら油の回収を、大積・川崎分館・宮内・宮内分館の各コミュニティセンターでも始めました。また、市のほかにも各種団体が集めていますが、下記の場所でも収集しています。

使用済み天ぷら油はバイオディーゼル燃料や石けんの原料として活用されています。ごみに出さずにリサイクルに回すよう、ごみの減量と資源のリサイクルにご協力をお願いします。



大積コミュニティセンターで

場所:(社)新潟県自動車整備振興会長岡支所内
回収ボックス (長岡市撰田屋町2697番地)
方法:透明のペットボトルに入れて持参

問い合わせ 越後ながおかバイオマス地域協議会
TEL 22-1074

枝葉・草
の回収について



枝豆・シソ・栗のいがなどは燃やすごみ

家庭菜園で出た野菜の葉や茎、つるなどは、たい肥化容器などでできるだけ自然に還してください。ごみで出す場合は燃やすごみになります。

枝は、概ね直径10センチまでのもの
をお願いします。

冬囲いで使ったわら縄・麻縄は、
枝葉・草で出すことができます。

1月・2月は枝葉・草の
収集をしていません。



ご活用ください! 「事業所のごみ処理 ガイドブック」

事業所から出る産業廃棄物、事業系一般廃棄物の処理方法をご紹介します。

環境業務課または各支所市民生活課(栃尾支所は環境衛生課)で無料でお渡しします。

また、市ホームページでもご覧
になれます。

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/gomi/>



どうして切るの？ 布団やカーペット

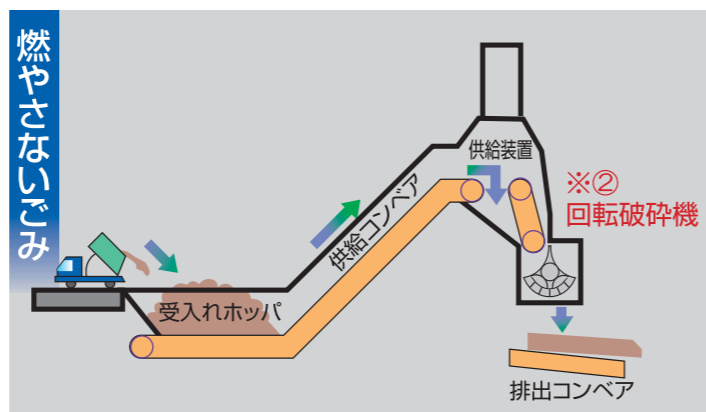
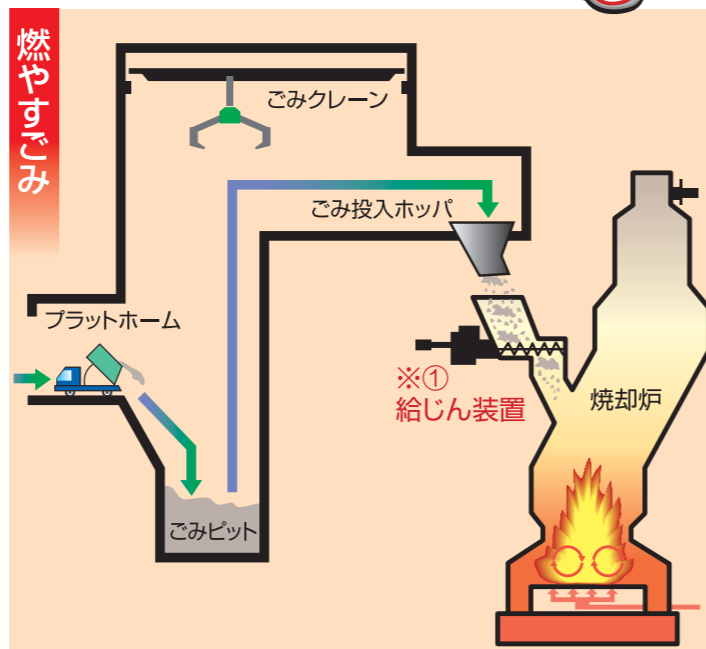
布団やカーペットを指定袋に入れてごみステーションに出す場合、なぜ必ず50cm四方に切らなければならないのか、処理をする鳥越クリーンセンターでの流れをご紹介します。



「燃やすごみ」は、ごみピットに投入した後「給じん装置」(※①)で定量ずつ焼却炉におくります。布団など長いものがそのまま出されると、この「給じん装置」にからまって故障の原因になります。

「燃やさないごみ」は、供給コンベアに投入した後「回転破砕機」(※②)で粉砕します。カーペットなど長いものはこの「回転破砕機」にからまって故障の原因になります。

「粗大ごみ」として出されたものはあらかじめ裁断してから処理をします。自宅で切ることができない布団やカーペットは、「粗大ごみ」として申し込んでいただくよう、お願いします。申し込み先はTEL25-0053です。布団は1枚200円、カーペットは1枚200円(4畳以上は600円)です。



機械が故障するとその間ごみ処理ができないほか、修理に多大な経費がかかります。ご理解とご協力をお願いします。



ブルーシートなどが回転破砕機にからまった状態



粗大ごみはあらかじめ裁断しています

個人や団体で施設を見学してみませんか？

お申し込みは 鳥越クリーンセンター TEL.47-1100へどうぞ。

お見せします！

♻️ のゆくえ

週に1回収集しているプラスチック容器包装材は、ごみステーションを離れた後、西陵町にある「環境資源開発」で選別、圧縮、梱包されてリサイクル事業者へ引き渡されます。その流れをご紹介します。



①ごみ収集車が施設へ到着し、プラスチック容器包装材が空けられます。



②袋を破る機械に投入します。

圧縮梱包されたプラスチック容器包装材は、リサイクル事業者へ引き渡され、プラスチック製品(ガーデニングの擬木、杭など)の原料となったり、燃料油になったりしています。

汚れが落ちていなかったり、プラスチック容器包装材でないものが混ざっていたりするとリサイクル事業者に引き取ってもらえないこともあります。分別収集にご協力をお願いします。



③混入した異物は、手作業で取り除かなければなりません。

プラスチック容器包装材のゆくえを見学してみませんか。

個人でも団体でもOKです。ぜひおいでください。

お申し込みは

環境資源開発(株) TEL21-5525 へどうぞ。



④1m四方の立方体に圧縮梱包されます。一日40梱包、量にして12~13トンできあがりです。

実際に

♻️ に混ぜて出されたごみ



電池(有害危険物です)



弁当の食べ残し(燃やすごみです)



ライター(有害危険物です)



カミソリ(燃やさないごみです)

左写真の電池とライターは、1ヶ月間で出たものです。このほかにも、生ごみや紙類、刃物など「燃やすごみ」「燃やさないごみ」として出すべきものがまだまだ混ざっています。

資源のリサイクルを進めるため、ごみと資源物の分別にご理解とご協力をお願いします！